

BLITZ

取り扱い説明書



この度は弊社製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本製品を車両に取り付ける前に必ず、本製品についての説明を御一読ください。
本文中のマークの説明

危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う事に至る切迫した危険状況を示します。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される危険状況を示します。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷または中程度の傷害を負う可能性が想定される危険な状況、及び物質傷害の発生のみが想定される状況を示します。
お願い	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の性能が発揮できなかつたり、故障する内容及び利用できない機能や事項などの内容を示します。(人身事故に関わらない特別な説明)

お願い はじめにご確認ください。

- この説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくお使いください。
- 本書と付属の説明書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管してください。
- この製品は説明書に記載のパーツリストの部品、付属品で構成されています。不足や不具合がある場合には、販売店または弊社までご連絡ください。
- 装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良や部品の破損で接触不良・誤作動・動作不良・故障の原因になる場合がありますので注意してください。
- この製品の取り付け作業時は、バッテリーのマイナス端子を外して電源オフの状態にする事をお勧めします。やむを得ない場合は、必ずイグニッションオフの状態で行ってください。電圧がかかった状態で取り付けを行いますと、作業中の接触により感電したり配線がショートしたりして、本製品や取り付けられた車両の電装品の破損の原因となりますのでご注意ください。
- 本製品に付属の説明書を必ず読んで、間違った取り付けや間違った使用をしないでください。
- 誤配線は絶対にしないで下さい。誤配線をした場合、本製品の破損や取り付けられた車両の火災につながる恐れがありますので危険です。誤配線や結線不良により発生する本製品の破損や取り付けられた車両の破損について弊社は一切の責任を負いません。

作業前及びご使用前に以下の事についてご確認ください。

警告	自動車の部品交換は本来の整備の整った自動車整備工場等で専門の教育を受けた整備士が行うべき危険な作業です。
警告	一酸化炭素中毒 エンジンをアイドリングしたまま休憩や仮眠をすると排気ガスによる一酸化炭素中毒の危険性があります。必ずエンジンを停止してください。 排気ガスには有害な成分が含まれています。閉め切った車内や倉庫の中などでエンジンを動かし続けると一酸化炭素中毒の危険性があります。 必ずエンジンを停止して換気も行ってください。 マフラーのテールパイプからは有害な排気ガスが排出されます。停車または駐車中に車の後ろに人、特に幼児やペットなどがいたままエンジンを動かし続けると一酸化炭素中毒の恐れがあります。必ずエンジンを停止して下さい。風向きにも注意してください。
警告	触れると火傷 エキゾーストマニホールド、ラジエーター、エンジン本体は特に高温になりますので触れると大火傷の恐れがあります。 エンジンが動いている時あるいはエンジンを停止した直後はエキゾーストマニホールド、ラジエーター、エンジン本体やマフラーは高温になっています。特に後端のテールパイプの部分は車両の外に露出していて触れやすいので十分に気を付けてください。触れると火傷の危険性があります。 お子様には特に注意してください。また、トランクから荷物を出し入れする場合、衣服がテールパイプに触れると焦げたり解けたりする事があります。停車、駐車する際には周囲に気を付けてください。
警告	レーシングメーターの取り付けは、エンジンルーム内の電気配線や水と空気の配管の近くで作業をしますので電気配線や水と空気の配管に傷を付けないように作業してください。電気配線や水と空気の配管に傷を付けますと、ショートの原因となり最悪の場合にはエンジンの破損や車両の破損が考えられます。 ラジエーター、エンジン本体や排気関係の部品は熱いので触ると火傷します。必ず冷えてから作業してください。手の火傷を防ぐ為に作業用の手袋をしてください。 純正部品のボルトやナットが緩みにくい事がありますのでスプレー式などの浸透性潤滑油を使用し適正な工具を使用して無理の無い作業を行ってください。 特に手指の怪我を防ぐ為に作業用の手袋を装着してください。
警告	本製品にはハーフミラーが使用されております。鏡のように反射効果があるため取り付け位置や使用状況により、内部の文字盤が見え難くなり、風景や景色の写り込みが発生する場合があります。特に太陽光や後続車両のヘッドライト光などが反射しますと著しく視界が悪くなり、思わぬ事故が発生する危険性があります。また反射光が集中する環境では、予期せぬ火災が発生する可能性もありますので、不慮の事故を防止するためにも本製品の取り付け位置には十分ご注意ください。

製品に関するお問い合わせ、連絡は電話またはFAXにて下記宛にお願い致します。

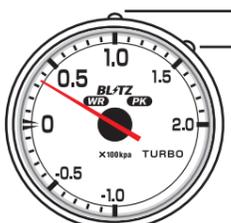
□連絡先 株式会社BLITZ (ブリッツ) □TEL 0566-79-2200
□住所 愛知県安城市高棚町大道40-1 □FAX 0566-79-2070

<http://www.blitz.co.jp/>

発売元 株式会社ブリッツ

- 表示者所在地 〒446-0053 愛知県安城市高棚町大道40-1
- 取扱説明書番号 1945003
- 第二版作成年月日 2005.06
- 株式会社ブリッツ

ピークホールド、ワーニング設定



SET **MODE**

- 文字盤上のWRはワーニングをPKはピーク値をそれぞれ示します。
- 本製品の各機能は左図のSETボタンとMODEボタンでそれぞれ設定します。
- 常時電源を接続することでピーク値と設定値およびワーニング設定値がメモリに記録されます。(後記注意参照)
- ピーク値が更新されたときPK表示が4回点滅します。水温などは指針の動きが緩やかですので常に点灯しますが異常ではありません。
- ワーニング設定値に近づくと点滅、達したときWRが点灯します。

ピークホールド設定

MODE 短く押すとピーク表示モード **MODE** もう一度押すとデフォルトモード

SET ピーククリア

- MODEボタンを1度押すことでPKが点灯しピーク表示モードになります。もう一度押すとデフォルトモードに戻ります。ピークモード中にSETボタンを押すとそれまでのピーク値がクリアされます。

ワーニング設定

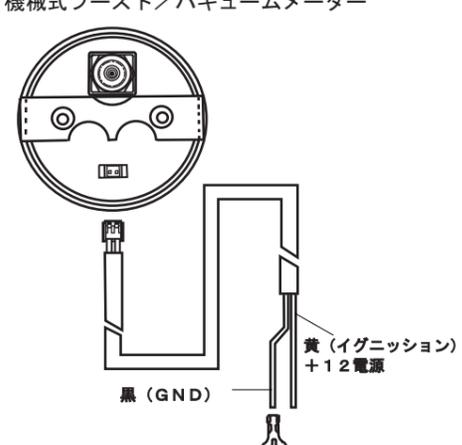
MODE 長く押すとワーニングモード **MODE** もう一度押すとデフォルトモード

SET ワーニング設定

- MODEボタンを2秒間長押しすることでWRが点灯しワーニング設定モードになります。更に1度短く押すことでデフォルトモードに戻ります。ワーニングモード中にSETボタンを長押しすると針が増減します。ご希望の値となりましたらSETボタンを離し、デフォルトモードに戻し、設定完了です。ワーニング設定値に近づくことで予告点滅が始まります。設定値で点灯になります。

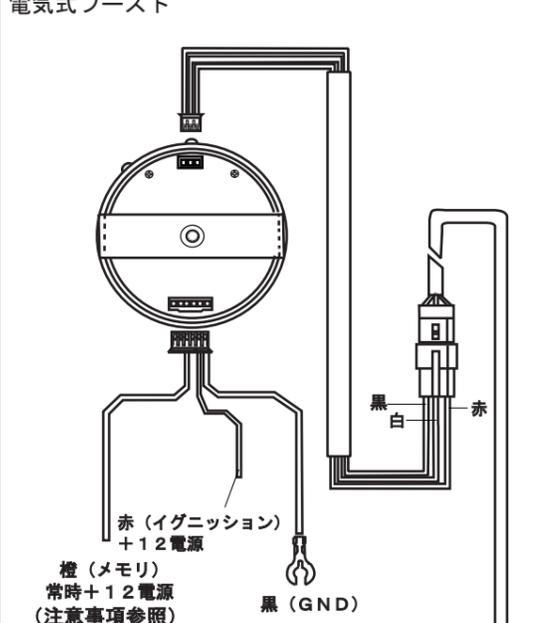
配線図 (MDメーター機械式/電気式共通)

機械式ブースト/バキュームメーター



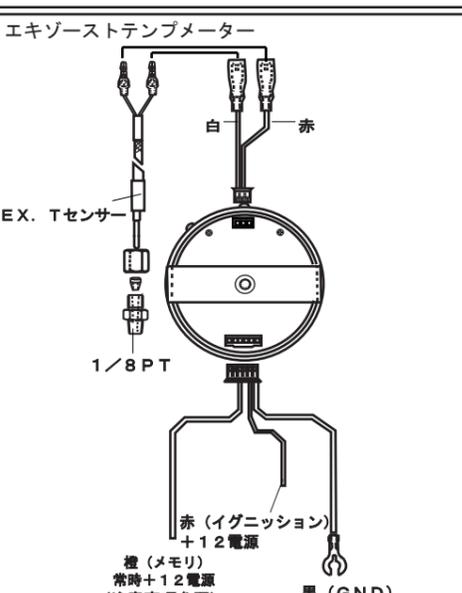
黒 (GND) 黄 (イグニッション) +12電源

電気式ブースト



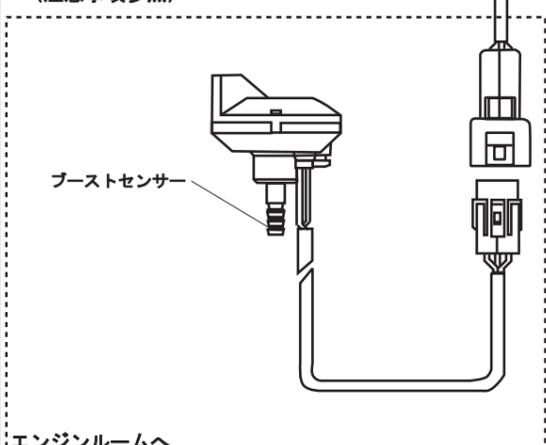
赤 (イグニッション) +12電源 黒 (GND) 橙 (メモリ) 常時+12電源 (注意事項参照)

エキゾースト温度メーター



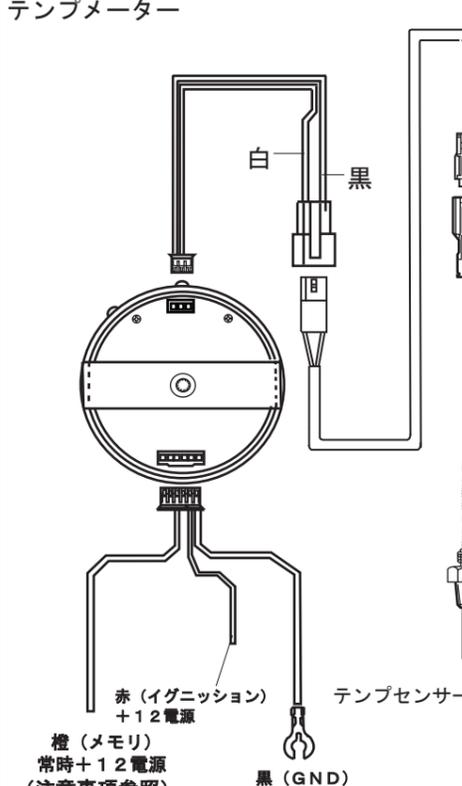
EX. Tセンサー 1/8 P.T. 赤 (イグニッション) +12電源 橙 (メモリ) 常時+12電源 (注意事項参照) 黒 (GND)

エンジンルームへ



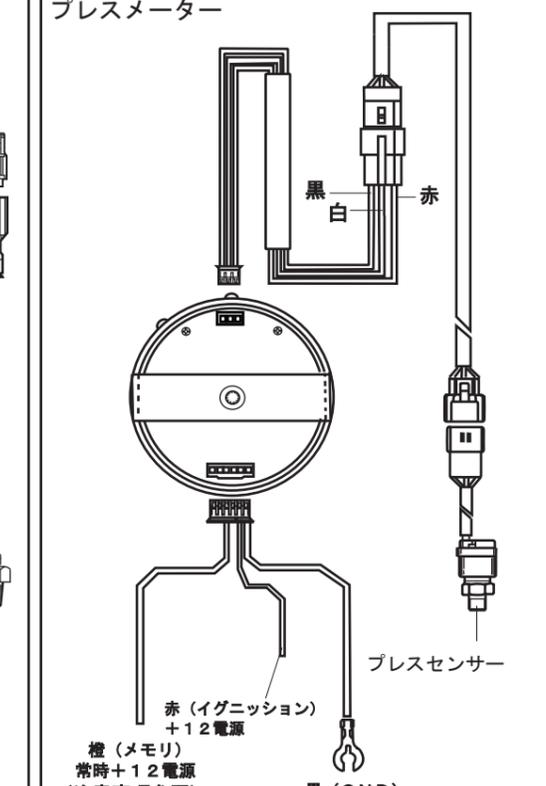
ブーストセンサー

温度メーター



白 黒 赤 (イグニッション) +12電源 橙 (メモリ) 常時+12電源 (注意事項参照) 黒 (GND) テンプセンサー

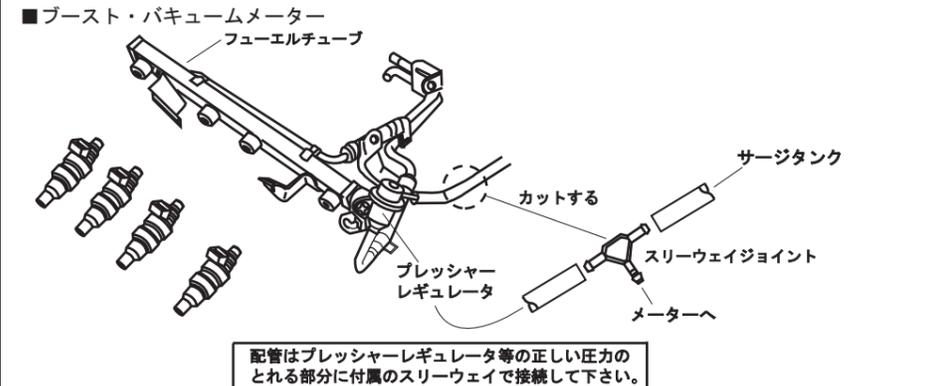
プレスマーター



黒 白 赤 黒 (GND) プレスセンサー 橙 (メモリ) 常時+12電源 (注意事項参照)

センサー取り付け方法

■ブースト・バキュームメーター

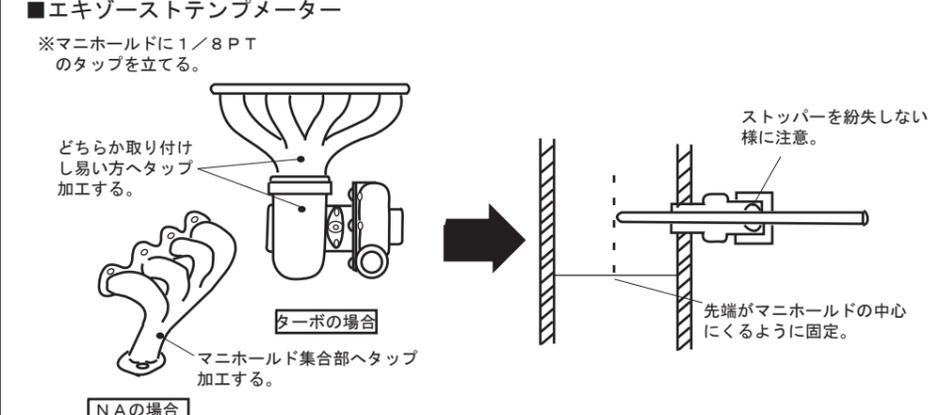


フューエルチューブ サージタンク カットする プレッシャーレギュレータ スリーウェイジョイント メーターへ

配管はプレッシャーレギュレータ等の正しい圧力のとれる部分に付属のスリーウェイで接続して下さい。

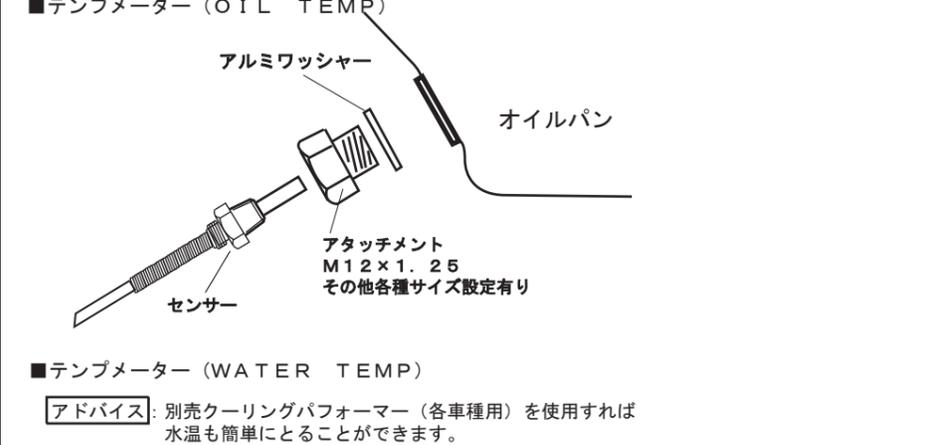
■エキゾースト温度メーター

※マニホールドに1/8 P.T.のタップを立てる。



どちらか取り付けし易い方へタップ加工する。 ターボの場合 マニホールド集合部へタップ加工する。 NAの場合 ストッパーを紛失しない様に注意。 先端がマニホールドの中心にくるように固定。

■温度メーター (OIL TEMP)



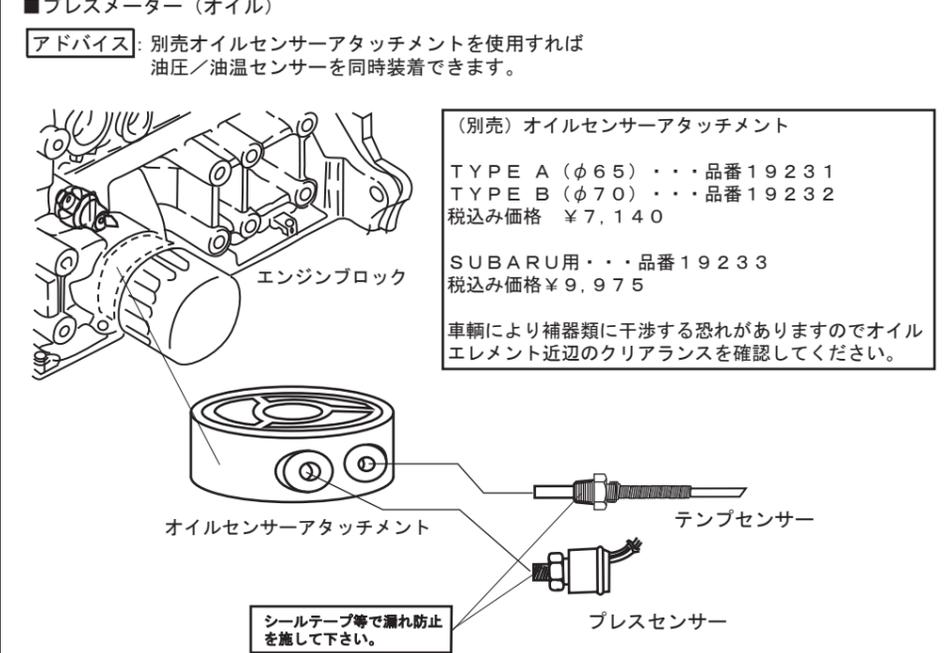
アルミワッシャー オイルパン アタッチメント M12×1.25 その他各種サイズ設定有り センサー

■温度メーター (WATER TEMP)

アドバイス: 別売クーリングパフォーマー (各車種用) を使用すれば水温も簡単にとることができます。

■プレスマーター (オイル)

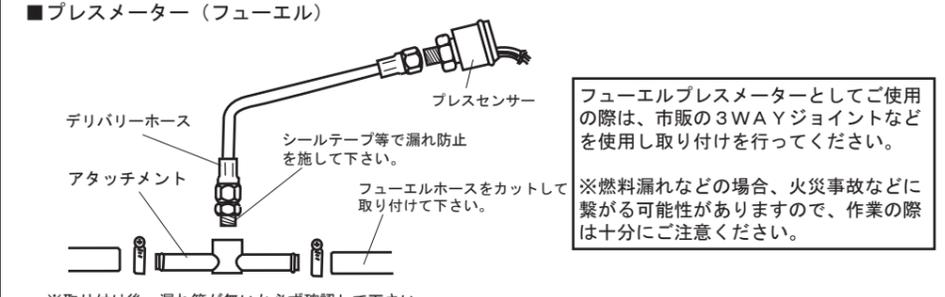
アドバイス: 別売オイルセンサーアタッチメントを使用すれば油圧/油温センサーを同時装着できます。



エンジンブロック オイルセンサーアタッチメント テンプセンサー プレスセンサー シールテープ等で漏れ防止を施して下さい。

(別売) オイルセンサーアタッチメント
 TYPE A (φ65) ... 品番 19231
 TYPE B (φ70) ... 品番 19232
 税込み価格 ¥7,140
 SUBARU用 ... 品番 19233
 税込み価格 ¥9,975
 車種により補器類に干渉する恐れがありますのでオイルエレメント近辺のクリアランスを確認してください。

■プレスマーター (フューエル)



デリバリーホース プレスセンサー シールテープ等で漏れ防止を施して下さい。 アタッチメント フューエルホースをカットして取り付けて下さい。

※取り付け後、漏れ等が無いが必ず確認して下さい。

フューエルプレスマーターとしてご使用の際は、市販の3WAYジョイントなどを使用し取り付けを行ってください。
 ※燃料漏れなどの場合、火災事故などに繋がる可能性がありますので、作業の際は十分にご注意ください。

照明線の配線方法について

- 照明線は機械式と電気式で異なります。
- 機械式の黄色線 (+)、電気式では赤色線 (+) を付属のエレクトロタップを使用してイグニッション電源の配線に接続してください。
- 黒色線 (GND) は端末に付属のワグチ端子を取り付けて、ボディ等に直接取り付けアースしてください。

注意 照明線の+-を逆に配線すると破損しますので間違いの無いように確実に配線を行ってください。配線ミスによる破損は保証修理の対象外となります。

注意 各センサーが故障していたり、未接続だった場合センサーチェック機能が働き、WRのパイロットランプが点滅致します。

注意 ※メモリ (常時+12電源) に関して!

電気式のブーストメーターおよび温度メーター、プレスマーター、エキゾースト温度メーターはピークホールドとワーニングの機能が搭載されています。橙色線を常時電源に接続することで内部のメモリ機能が働き、イグニッションオフでもピークホールドとワーニング設定値を記録します。橙色線を常時電源に接続しない場合はイグニッション電源に接続してください。この場合メーターは通常動作を致しますが、ピーク値とワーニング設定値はイグニッションオフと同時にリセットされます。